

「じれったい、もどかしい、はがゆい」の意味分析

加藤恵梨

キーワード 感情形容詞、類義語、多義語、比喩

1. はじめに

国語辞典や類語辞典で「じれったい」、「もどかしい」、「はがゆい」を見ると、例えば「じれったい」の記述に「もどかしい」と「はがゆい」が用いられて説明されているように、三語の意味の違いが明らかにされていない。このように意味の違いが明らかにされていない類義語について、意味の違いを明らかにすることを目指す。

2. 辞書の記述

辞書で三語がどのように記されているのかを確認する。

2.1 国語辞典の記述について

まず、いわゆる一般的な国語辞典の記述を取り上げる。『大辞林 第二版』と『学研国語大辞典 第二版』では以下のように記述されている(下線は引用者)。

「じれったい」

- ・早くそうなればいいと思っているのに、なかなか進まないで、じっとして
いられない。はがゆい。もどかしい。(『大辞林』、p. 1281)
- ・[物事が思うようにならないで] いらだたしい。はがゆい。もどかしい。
(『学研国語大辞典』、p. 970)

「もどかしい」

- ・物事が思うように進まずいらいらする。じれったい。はがゆい。
(『大辞林』、p. 2559)
- ・[自分の気持ちとは逆に、物事がなかなか進まず] いらいらする。じれっ
たい。
(『学研国語大辞典』、p. 1949)

「はがゆい」

- ・ 思いどおりにならずじれったい。もどかしい。(『大辞林』、p. 2057)
- ・ 思いどおりにならなくて心がいらだつ状態である。じれったい。もどかしい。(『学研国語大辞典』、p. 1546)

上の記述を見ると、「じれったい」の意味説明に「もどかしい」と「はがゆい」が用いられているように、ある語を他の二つの語を用いて説明している。このことから、三語が類義語であることが確認できるが、意味の違いについては明らかにされているとはいいがたい。また意味記述においても、三語とも「物事が思うようにすすまないことにじっとしてられない、いらいらする」ということができ、はっきりした違いが認められない。

また、上の国語辞典の記述のように、三語に必ずしも「いらいらする」という意味が含まれているとはいえないことが下の例によって確認できる。⁽¹⁾

- (1) フィルムを現像に出してから写真ができあがるまでは、ドキドキワクワク待ち切れない。そして現像したての写真を手にしたときは、はちきれそうな風船みたいに、喜びで自分の心がばんばんになっているのがわかる。カメラ屋を出るとすぐに写真の出来をチェックして、一枚でも気に入ったものがあれば、うれしくて家まで走って帰る。よく考えてみると、石けん作りの型出しのときと、とてもよく似ている。じれったいと思いつつながらワクワクと結果を待つようなものが、私は好きなかもしれない。

(エブリデイズアグッドデイ : 毎日いい日にするための生活レシピ*)⁽²⁾

- (2) (前略) なおこの一編に限り、あえていっさいのルビをふらなかつたのは、読めない字ももどかしいなりに楽しかった幼時の記憶による。

(人外境通信*)

- (3) 学問にかけては大学でも指折りの秀才であるらしい。けれどもまだ女ごころの機微は解ってはいない。その稚さが歯痒くもあるが、可愛くもあつた。(『青春の蹉跎』、p. 261)

2. 2 類語辞典の記述について

次に、類語辞典の記述を取り上げる。『講談社類語辞典』(p. 582)と『ちがいがわかる類語使い分け辞典』(p. 255)では「じれったい」と「もどかしい」について、「じれったい」は一般に他人の行為について、「もどかしい」は一般に自分の行為についていう場合に用いられると述べられている。

確かに、「じれったい」は他人の行為を含めた自分以外の対象について述べる場合に用いられる例が多数をしめ、自分の行為について述べる場合でも下の例

(4)のように自分を客体化したような表現となっている。

(4) 気がつくと、逃げるように八百屋の前を遠く離れていた。自分自身がじれったかった。 (『一筋の眞に生きて』、p.49)

しかし「もどかしい」においては、実例を見ると自分の行為以外について述べる場合にも用いられており、必ずしも一般に自分の行為についていう場合に用いられるとはいえない。

さらに本稿では、類語辞典で指摘されている以外の意味の違いについても検討する（詳しくは4節で述べる）。

3. 意味分析

以下では、三語の個々の意味について分析する。

3. 1 「じれったい」の意味

3. 1. 1 別義(1): <あることが早く実現することを望んでいるが、なかなか実現しないことに> <待ちきれず、気持ちが落ち着かない> <さま>

(5) ドアの前立ってから開くの4～5秒。踏み板への体重のかけかたが悪いと開かないこともある。「老人や車いすの人には、ゆっくり開く方がいい」というのが谷島社長の弁だが、せっかちな記者には少しじれったい。つい手が出た。 (2007年11月14日 朝日新聞)

(6) 人が五分で到着する教会も、さすが八十歳が目の前の私の足は、なかなかスムーズには歩んでくれない。じれったい、と足に文句こぼしながら少し急ぎ足になると、枯れ木同様の両足は関節が痛み出しました。 (『おばあちゃんの苦言』、p.63)

(7) (前略) なお、じれったいことですが、この一連の物語のなかには、渡辺綱の名はまだ出てきません。 (『鬼・雷神・陰陽師』、p.155)

(8) フィルムを現像に出してから写真ができあがるまでは、ドキドキワクワク待ち切れない。そして現像したての写真を手にしたときは、はちきれそうな風船みたいに、喜びで自分の心がばんばんになっているのがわかる。カメラ屋を出るとすぐに写真の出来をチェックして、一枚でも気に入ったものがあれば、うれしくて家まで走って帰る。よく考えてみると、石けん作りの型出しのときと、とてもよく似ている。じれったいと思いつつワクワクと結果を待つようなものが、私は好きなかもしれない。 (=1)

上の例(5)から(8)はそれぞれ、例(5)はドアが開く速度が遅いこと、例(6)は歩く速

度が遅いこと、例(7)は「渡辺綱」の名がなかなか出てこないこと、例(8)は写真ができてあがるのを待つことに対して「じれったい」と感じている。このように例(5)から(8)では、あることの実現（ドアが開くこと、教会に到着すること、「渡辺綱」が登場すること、写真ができてあがること）を望む気持ちに反して、なかなか実現しないことに「じれったい」と感じている。また例(5)と(6)において、「じれったい」と感じることから「つい手が出た」あるいは「少し急ぎ足になる」とある。これは、実現しないことに待ち切れず、気持ちが落ち着かないことにより、あることが実現するように促す行動をとったと考えることができる。

以上から、「じれったい」の別義(1)は、〈あることが早く実現することを望んでいるが、なかなか実現しないことに〉〈待ちきれず、気持ちが落ち着かない〉〈さま〉である。

3. 1. 2 別義(2): 〈ある人の考えや態度が現状にとどまり、主体の求める方向へと進まないことに〉 〈気持ちが落ち着かない〉 〈さま〉

- (9) 「美代子さんもいい人たちに囲まれているのだから、『お願いね』と甘えて出かければいいのに」

落合姓になった和江さんと何回か誘い出そうとしたが、「残念だけど」と断られることが多かった。他人にはやさしいが、自分には厳しいんだから、とじれったく思うことがよくあった。 (『天使の微笑み』、p.25)

- (10) 姉の由紀子は奈津美から見てもなかなかの美人で、もう少し垢抜ければ、いかにも男性にもてそうなタイプだが、当の本人は自分が周りからそう思われているなど、夢にも思っていない様子だ。(中略) もっと女として自分を磨こうとしないのかしら、と奈津美はじれったく思うことがある。 (『かつてのコイビト』、p.19)

- (11) 『しゃっきりおしよ』

『え?』彼は眼をあげたわ。

『だからさ、何をしょぼくれているの、というの。じれったい。十二、三の女の子なら、細雨に肩を濡らしながら公園のベンチにたたずむ自分にちょっとナルシズムを感じたりもするだろうけれど、たしか、二十九だったよね』 (薔薇忌*)

- (12) 話を聞いていた三亀松は、伍長の融通のきかない対応がじれったくなった。達引きの強い深川つ子としては、「これから出陣する兵隊さんのためにひと肌脱ごうじゃねえか」という気になった。(浮かれ三亀松*)

上の例(9)から(12)は、例(9)は友人が他人に甘えようとするしないこと、例(10)は姉が

もっと自分を磨こうとしないこと、例(11)はしょぼくれた彼の様子、例(12)は伍長の融通の利かない対応に対して「じれったい」と感じている。例(9)と(10)では、他人に甘えることのない友人の態度、あるいは自分を磨こうとしない姉の様子に対して、『『お願いね』と甘えて出かければいいのに』あるいは「もっと女として自分を磨こうとしないのかしら」とあるように、主体の思うような行動を友人や姉がとることを求めてもそういう行動をとらないことによって「じれったい」という感情が生じている。また例(11)では、しょぼくれている彼の様子を見てみると気持ちが落ちつかず、「じれったい」と発言することで彼に態度の改善を求めている。さらに例(12)においても、伍長の融通のきかない対応が「じれったくなかった」ことにより、主体が伍長の代わりに行動を起こそうとしている。このように「じれったい」とは、ある人の考えや態度が現状にとどまり、主体の求める方向へと進まないことに気持ちが落ち着かないさまを表しているといえることができる。

以上から、「じれったい」の別義(2)は、〈ある人の考えや態度が現状にとどまり、主体の求める方向へと進まないことに〉〈気持ちが落ち着かない〉〈さま〉である。

ここで、「じれったい」の別義(1)と(2)の関係について考えると、別義(2)は、別義(1) (= 〈あることが早く実現することを望んでいるが、なかなか実現しないことに〉〈待ちきれず、気持ちが落ち着かない〉〈さま〉) が特殊化した意味であると考えられる。よって、別義(1)と(2)はシネクドキーに基づく関係が成立しているといえることができる。⁽³⁾

3. 2 「もどかしい」の意味

3. 2. 1 別義(1): 〈あることを早く実現したいという思いで〉〈気持ちがあせる〉〈さま〉

(13) 「もどかしい! もどかしい!」

頭脳明晰な栄西でも歯ざしりの連続であった。少しずつ進んでも仕方がない。「本場で一挙に学んでしまいたい!」と、一挙解決策を考える日々になった。(『日本留学生列伝』、p. 111)

(14) ある日、卒業後一度も同期会に出席せず、会うことのなかった友からの手紙が届いた。懐かしくて、封を切るのももどかしく便せんを開く。

(2008年3月7日 中日スポーツ)

(15) 初めて聞く夫の声色に、相手が誰なのか見当が付かない。が、次の会話の内容でそれが娘だとすぐに分かった。話の切れるのを待つのももどかしく、「何だって?」と、尋ねながら夫から受話器を受け取ると、何ともうれ

- しそうに「妊娠したんだって」と答えた。(2007年6月19日 中日新聞)
- (16) バス通りに出たがバスを待つのももどかしく、私はタクシーを拾った。
(空を失くした日*)

まず例(13)と(14)は、「本場で一挙に学問を習得したい」あるいは「早く手紙を読みたい」という思いから、「少しずつ学ぶ」あるいは「封を切る」という目的の前段階の行為に時間をさくことに対して「もどかしい」と感じている。続いて例(15)と(16)においては、「早く娘と話したい」あるいは「早く目的地につきたい」という思いから、「夫と娘の話が切れるのを待つ」あるいは「バスを待つ」という行為をすることを「もどかしい」と感じ、これらの行為を行わずに目的を実現させている(あるいはそれにより近い行為へと行動を移している)。このように例(13)から(16)の「もどかしい」は、あることを早く実現したいという思いで、気持ちがあせるさまを表しているということができる。⁽⁴⁾

以上から、「もどかしい」の別義(1)は、〈あることを早く実現したいという思いで〉〈気持ちがあせる〉〈さま〉である。

3. 2. 2 別義(2):〈あることの実現にあと一步届かないことに〉〈気持ちが満たされない〉〈さま〉

- (17) 後半も広島が優位に進めた。25分、駒野のパスをゴール前で受けた佐藤寿のシュートは枠外へ。44分のシュートも相手GKの正面にいくなど、広島サポーターにとっては終始もどかしい内容だった。
(2005年3月26日 中国新聞)
- (18) 「あっ、これは、この曲は…。しかしあなたは思い出せない。もどかしい。曲は耳にこびりついた。
(『たのしいジャズ入門』、p.36)
- (19) エディのように、金についてはっきりさせようとするのは、きっと正しいことなのに違いない。そうは思うのだが、エディとは微妙なところで通じ合うことができない、ということがもどかしかった。
(『一瞬の夏』、p.836)

- (20) 不振のきっかけも、理由もわかっているのに、自分の打撃ができないもどかしい日が続いた。
(2008年6月20日 中日スポーツ)

まず例(17)は、応援するチームのシュートがゴールの枠外へいくなど、あと一步のところ得点できないことに対して「もどかしい」と感じている。次に例(18)は、メロディーに聞き覚えがあるため、もう少しのところ曲名を思い出せそうな気がするものの、思い出すことができないことに「もどかしい」と感じている。続いて例(19)は、主体がエディと「微妙なところで通じ合うことができない」とあるように、完全に心を通わせるという状態にあと一步届かないことを

「もどかしい」と感じている。最後に例⑳は、不振のきっかけも理由も分かり、自分の打撃を取り戻すための好条件はそろっているにもかかわらず、自分の打撃ができないことに「もどかしい」と感じている。このようにここでの「もどかしい」は、主体が実現させたいことに関して、おいしいところまでいきながらもあと一步のところで届かないことを「もどかしい」と感じている。さらに「もどかしい」は、期待があと一步のところで打ち砕かれることに気持ちが満たされないさまを表しているということが出来る。⁵⁾

以上から、「もどかしい」の別義(2)は、〈あることの実現にあと一步届かないことに〉〈気持ちが満たされない〉〈さま〉である。

3. 2. 3 別義(3): 〈思うようにならないことに〉〈精神的に苦しむ〉〈さま〉

㉑) 投球練習すらできない日々が1カ月も続いた。「ゲームで投げられないのがもどかしかった」と苦悩を明かす。(2009年7月8日 中日新聞)

㉒) 試合後の俊輔は、消化不良といった表情を見せた。「(ボールが)来た時は、やれる自信はあるんだけど…。確かにもどかしい試合だった。前半は右サイドに張り出して待ったが、とにかくパスが来ない。後半は徐々に中央に移り、パスコースに顔を出して積極的に要求したが、「このタイミングで来れば、次の次(のプレー)まで考えてある」という場面で、パスをもらえないことが何度もあった。(2009年9月29日 中日新聞)

㉓) 誤解というものは、ふつう周りの人間を巻き込むものだ。他の人を誤解したり、あるいはされたり、それは決して愉快的経験ではない。なんで分かってもらえないのだろう、自分の表現が悪いのか、それとも相手の思い込みが激しすぎるのかと、もどかしい思いが積み重なっていく。

(『多文化社会と異文化コミュニケーション』、p.52)

㉔) 仲間たちは荒れる海に捜索にも向かえず「もどかしい」と漏らした。

(2007年6月27日 中日新聞)

上の例㉑)から㉔)はそれぞれ、例㉑)は投球したいができないこと、例㉒)はボールをパスしてほしいがしてもらえないこと、例㉓)は人になぜ誤解されたのか考えても、答えに達することができないこと、例㉔)は海へ仲間を捜索に行きたいが行くことができないことを「もどかしい」と感じている。これらは主体の思いに反して、思うようにならないことに「もどかしい」と感じているということができる。また例㉑)では、「もどかしかった」という発言が「苦悩」と解釈されている。このように「もどかしい」は、主体の思いに対し、実際には思うようにならず、そのことを受け入れることに苦しむさまを表す。さらに例㉓)においても、「なんで分かってもらえないのだろう、自分の表現が悪いのか、それとも

相手の思い込みが激しすぎるのか」とあるように、主体の「分かってもらいたい」という思いに反し、実際には分かってもらえないことに思い悩み、精神的に苦しむさまを「もどかしい」と表現している。

以上から「もどかしい」の別義(3)は、〈思うようにならないことに〉〈精神的に苦しむ〉〈さま〉ということができる。

3. 2. 4 別義間の関連性について

ここで、「もどかしい」の別義間の関連性について考える。別義(1)から(3)は、あることの実現を期待するという共通フレームに関して、別義(1)は〈早く実現したいという思いで気持ちがあせる〉という段階を、別義(2)は〈実現にあと一歩届かないことに気持ちが満たされない〉という段階を、別義(3)は〈思うようにならないことに精神的に苦しむ〉という段階を焦点化しており、連続性が認められる。このように、別義(1)から(3)は単一フレーム内における焦点移動と考えられるため、メトニミーに基づく関係にあるということができる。⁽⁶⁾

3. 3 「はがゆい」の意味：〈思いを叶えたいという強い気持ちに反し、思いが叶わないことに〉〈耐えられない〉〈さま〉

(25) どうしても生きていてほしかった。

どんなに頑張っても、助けられなかった自分の無力さがはがゆかった。

(『徳之島物語』、p. 209)

(26) 再三にわたり採血を受けながらも、自分の体の変化を教えてもらえない。そんな歯がゆい気持ちの連続で、この頃から父はだんだん苛立ち、ドクターに対する不信感を募らせていった。(『希望あるかぎり』、p. 111)

(27) 「教科書に真実を」一。党派や世代を超えた十一万人(主催者発表)が二十九日、抗議の声を上げた。(中略)沖縄戦当時、米軍上陸地の読谷村で警備に召集された那覇市の知念勇さん(84)も参加。「戦争体験者が減った今ごろになって、国や政治家が変なことを言うからはがゆい。後輩のためにも黙っておれん」と唇をかんだ。(2007年9月30日 東京新聞)

(28) 電車が停電していると、傍らの同僚達は、うまくいくかい、動くかいと脇で高みの見物式に眺めているんだね。僕はこれを見てつくづく反感を覚えたものだよ。「ちょっと待ちたまえ、僕がやろう、僕が手伝おう」となぜ一緒になってやらないのかと歯がゆくなった。(『私の行き方』、p. 111)

例(25)から(28)はそれぞれ、例(25)はある人をどうしても助けたい、例(26)は自分の体の変化を教えてもらいたい、例(27)は教科書に真実をのせたい、例(28)はみんなで助け合うべきだという強い思いに反して、実際には思いが叶わないことに「は

がゆい」と感じている。さらに、例⑲では「はがゆい」気持ちから「唇をかむ」という身体行為が伴い、また例⑳では「はがゆい」という気持ちが「反感を覚えた」という表現と同等のマイナスの気持ちの強さを表しているように、「はがゆい」とは主体の思いが叶わないことに耐えられないさまを表すということができる。

以上から「はがゆい」の意味は、く思いを叶えたいという強い気持ちに反し、思いが叶わないことにく耐えられないくさま」ということができる。

4. 意味の類似点と相違点について

以下では3節の意味分析をもとに、「じれったい」、「もどかしい」、「はがゆい」の意味の類似点及び相違点について検討する。

4.1 「じれったい」と「もどかしい」について

まず、「じれったい」と「もどかしい」の意味について考察する。2. 2節で両語の違いについて、「じれったい」は一般的に他人の行為を含めた自分以外の対象について述べる場合に用いられるのに対し、「もどかしい」はそのような制限はないと述べた。本節ではそれ以外の両語の意味の違いについて考察する。

- ⑲ ドアの前に立ってから開くのに4～5秒。踏み板への体重のかけかたが悪いと開かないこともある。「老人や車いすの人には、ゆっくり開く方がいい」というのが谷島社長の弁だが、せっかちな記者には少しじれったい(もどかしい)。つい手が出た。(=5)

- ⑳ 大きな振動とともにエレベーターが一階へ着いた。ドアの開く間がもどかしく(じれったく)、利明は「開」ボタンをがしゃがしゃと押した。

(パラサイト・イヴ*)

まず、「じれったい」と「もどかしい」の意味の類似点について確認する。例⑲は「じれったい」の別義(1)(=くあることが早く実現することを望んでいるが、なかなか実現しないことにく待ちきれず、気持ちが落ち着かないくさま)で説明できるものであり、一方の例⑳は「もどかしい」の別義(1)(=くあることを早く実現したいという思いでく気持ちがあせるくさま)で説明できるものである。これら二つの例の「じれったい」を「もどかしい」に、あるいは「もどかしい」を「じれったい」に置き換えても文の意味が大きく異なることから、「じれったい」の別義(1)と「もどかしい」の別義(1)が類似していると考えられる。

しかし一方で、下の例③①と③②は「もどかしい」の別義(1)で説明できるものであるが、「もどかしい」を「じれったい」に置き換えると不自然な表現となる。

③① シンドラー社製のエレベーター事故は、ブレーキ系統に異常があったとみられ、点検で異常が見逃された疑いが浮上している。ただ、構造上の問題も絡んでなかったか、いまだに全容が解明されないままなのは実にもどかしい（??じれったい）。(2007年6月6日 中国新聞)

③② 駄目だ。待った所でもう君は来やしない。(中略)筆は益々渋るばかりだった。軽い陣痛のようなものは時々起りはしたが、大切な文字は埋れ出てくれなかった。こうして私に取って情ないもどかしい(??じれったい)時間が三十分も過ぎた頃だったろう、農場の男が又のそりと部屋に入って来て来客を知らせたのは。(『生れ出づる悩み』、pp.66-67)

例③①は、エレベーター事故の原因の全容がいまだに解明されていないことを「もどかしい」と感じている。次の例③②は、「待ったところで君は来やしない」と思いながらも待つことを「もどかしい」と感じている。このように「もどかしい」は、主体が実現してほしいと望むことであれば、現時点では実現へと向かっておらず、また今後も実現するかどうかははっきりしていないことに対して用いることができる。しかし一方の「じれったい」は、例②⑨ではドアが開くのに時間がかかることを「じれったい」と感じ、結局手で開けたとあるように、あることの進行が遅いことに対する感情を表すため、あることが実現するかどうかははっきりしない状況で用いると不自然な表現となる。

4.2 「もどかしい」と「はがゆい」について

次に、「もどかしい」と「はがゆい」の意味について考察する。

- ③③ 口下手を気にする人の気持ちもわかる。「何で自分の言いたいことが、伝わらないのだ」と、もどかしく（はがゆく）なることもあるだろう。
（なぜこのオッサンの話はおもしろい!? ∴ オチがあれば人も落ちる*）
- ③④ 自分の考えを伝えたい。けれども、相手は分かってくれない。あなたも、そんな歯がゆい（もどかしい）思いをしたことがあるでしょう。

（『図解 自分の考えをしっかりと伝える技術』、p.8）

例③③は「もどかしい」の別義(3)（＝く思うようにならないことにく精神的に苦しむくさま）で説明できるものである。例③③の「もどかしい」を「はがゆい」に置き換えても文の意味が大きく異なることから、「もどかしい」の別義(3)と「はがゆい」の意味が類似していると考えられる。例③④においても同様である。

しかし、例③⑤も「もどかしい」の別義(3)で説明できるが、これを「はがゆい」

に置き換えると不自然な表現となる。同様に、例③⑥の「はがゆい」を「もどかしい」に置き換えると不自然な表現になる。

- ③⑤ まったく言葉を交わさない両親の間に鼠のように走り回り、結局は何の役にもたたなかった自分が、情けなく思えてきた。無力な自分に腹をたてながら、それでもまだ何か手立てを講じれば、どうにかなるのではと、もどかしく（??はがゆく）苛立っていた。（花の寢床*）

- ③⑥ どうしても生きていてほしかった。

どんなに頑張っても、助けられなかった自分の無力さがはがゆかった（??もどかしかった）。（=②⑤）

まず例③⑤を見ると、「無力な自分に腹をたてながら、それでもまだ何か手立てを講じれば、どうにかなるのでは」とあるように、両親の仲が自分の思うようにならないことに精神的に苦しみながらも、どうにかしたいという気持ちを「もどかしい」と表している。このように「もどかしい」は、思い通りにならないことであっても、どうにかしたいと精神的に苦しむさまを表す。それに対し、「はがゆい」は例③⑥のように、どんなに頑張っても助けたいという思いは叶わないと認識することによって生じる感情である。そのため、思い通りにならないことであっても、どうにかしたいという気持ちを含む文には用いることができない。

4.3 「じれったい」と「はがゆい」について

最後に「じれったい」と「はがゆい」の意味について考察する。「じれったい」は下の例③⑦のように、あることが実現することを望んでいるが、なかなか実現しないことに気持ちが落ち着かないさまを表す。一方の「はがゆい」は下の例③⑧のように、自分の思いを叶えたいという強い気持ちに反して、思いが叶わないと認識したことによって生じる感情である。そのため、「じれったい」と「はがゆい」は意味が類似していると考えにくい。

- ③⑦ フィルムを現像に出してから写真ができあがるまでは、ドキドキワクワク待ち切れない。そして現像したての写真を手にしたときは、はちきれそうな風船みたいに、喜びで自分の心がぱんぱんになっているのがわかる。カメラ屋を出るとすぐに写真の出来をチェックして、一枚でも気に入ったものがあれば、うれしくて家まで走って帰る。よく考えてみると、石けん作りの型出しのときと、とてもよく似ている。じれったいと思いながらワクワクと結果を待つようなものが、私は好きなのかもしれない。（=⑧）

- ③⑧ 電車が停電していると、傍らの同僚達は、うまくいくかい、動くかいと脇で高みの見物式に眺めているんだね。僕はこれを見てつくづく反感を覚

えたものだよ。「ちょっと待ちたまえ、僕がやろう、僕が手伝おう」となぜ一緒にやってやらないのかと歯がゆくなった。(=28)

5. おわりに

本稿では、辞書等で意味の記述が明確にされていない「じれったい」、「もどかしい」、「はがゆい」の意味を分析し、それぞれの意味および意味の違いを示した。今後も感情形容詞の意味について考察していきたいと考える。

注

- (1) 以下では、直接の分析対象となる語は下線で示し、それ以外の問題となる言語形式は二重下線で示す。
- (2) 以下、例文出典の最後に※がついているものは、『『現代日本語書き言葉均衡コーパス』モニター公開データ (2009年度版)』によるものである。
- (3) 初山 (2002) はシネクドキーを「より一般的な意味を持つ形式を用いて、より特殊な意味を表す、あるいは逆に、より特殊な意味を持つ形式を用いて、より一般的な意味を表すという比喩」(p.69)と定義している。
- (4) 「もどかしい」の別義(1)は、例(14)から(16)のように「…のももどかしく」という形で多く見られる。
- (5) 例(20)は別義(3)として捉えることも可能である。3. 2. 4節で述べるように、別義(2)と(3)に連続性が認められることから、そのように捉えられる可能性もある。
- (6) 初山 (2002) はメトニミーを「二つの事物の外界における隣接性、さらに広く二つの事物・概念の思考内・概念上の関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩」(p.76)と定義している。

引用文献

- (1) 金田一春彦・池田弥三郎編（1988）『学研国語大辞典 第二版』，学習研究社
- (2) 柴田武・山田進・加藤安彦・舩山洋介編（2008）『講談社類語辞典』，講談社
- (3) 松井栄一編（2008）『ちがいがわかる類語使い分け辞典』，小学館
- (4) 松村明編（1995）『大辞林 第二版』，三省堂
- (5) 舩山洋介（2002）『認知意味論のしくみ』，研究社

例文出典

- ・朝日新聞
- ・伊佐雅子監修（2007）『多文化社会と異文化コミュニケーション』，三修社
- ・上田哲美（2003）『徳之島物語』，文芸社
- ・『現代日本語書き言葉均衡コーパス』モニター公開データ（2009年度版）
- ・小林一三（2006）『私の行き方』，PHP研究社
- ・柴田知加子（2001）『希望あるかぎり』，文芸社
- ・新潮文庫の100冊（『一瞬の夏』，『青春の蹉跎』，『生まれ出づる悩み』）
- ・須田海山（2004）『一筋の真に生きて』，文芸社
- ・中国新聞
- ・中日新聞
- ・中日スポーツ
- ・寺島靖国（2005）『たのしいジャズ入門』，春風社
- ・東京新聞
- ・福井栄一（2004）『鬼・雷神・陰陽師』，PHP研究所
- ・藤村美智子（2004）『おばあちゃんの苦言』，文芸社
- ・松邨賀太（2001）『日本留学生列伝』，文芸社
- ・真名耀子（2004）『かつてのコイビト』，文芸社
- ・八幡紕芦史（2008）『図解 自分の考えをしっかりと伝える技術』，PHP研究所
- ・山谷せつ子（2005）『天使の微笑み』，文芸社